

幻のかくれい

筑豊からのメッセージ

1958 年 戦後日本は大きな”ターニングポイント”を迎えていた。
「エネルギー革命」の名のもとに、石炭から石油へ、
と産業転換が進み、全国の炭鉱は存立の危機に陥り、
かつてない激しい労働争議が繰り広げられた。
そして九州北部、筑豊の「大正炭鉱」の町、
中間市で、「サークル村」が発行された。



谷川雁への弔辞 (杉原茂雄)

我々にとっては、人生の生きざまを決めた、歴史的、運命的な出会いでした。
そして谷川雁にとっては、地獄の、暗黒の抗底で命を賭けて働く炭鉱労働
者と、命を賭けて格闘しようと覚悟を決めて、出会ったのです。

雁さんの一つ一つの言葉は鮮烈であり、強烈でした。

炭鉱夫と雁さんとの同志的共同体が築かれてゆくなかで、我々にも、世界が、
人間が、革命が、そして自分自身の根源が見えてくるようでした。

出演 杉原 茂雄 小日向 哲也 古川 実 河野 靖好
本郷 弦 坪内 守 円地 晶子

語り 進藤 健太郎 円地 晶子

撮影 稲塚 秀孝 大館 岳史

編集 熊谷 むつみ

MA 梶江 隆三

題字 西本直代

デザイン 田口 克実

協力 無名塾 共同映画 ©Yamamoto Family

監督・プロデュース 稲塚 秀孝

製作・配給 タキオンジャパン <https://takion-japan.com>